

福野中部 まちづくり協議会だより 活動報告

第29号
発行日 令和6年3月25日
発行者 福野中部
まちづくり協議会
電話・Fax 22-1660



福野中部まち
づくり協議会
のホームペー
ジQRコード

文化祭・餅つき大会 ひとづくり部会

期日：3月10日（日）
10：00より
場所：福野産業文化会館
参加者数：約150名

3月10日（日）に福野産業文化会館で「文化祭」と「餅つき大会」を開催しました。今年、産業文化会館の広い部屋を「遊び広場」として幼児用の遊具コーナーやゲーム機でスポーツを楽しむeスポーツコーナーを設けたところ、子供たちが楽しく遊ぶ姿を見ることができました。

保育園や幼稚園に通う中部地区の園児の作品や高齢者サロンで作成された作品等を展示しました。また、書道教室の皆さんや住民の方の作品等も展示されました。

産業文化会館前の駐車場で行われた「餅つき大会」では、餅つきの体験をすることができました。ごま、チョコ、チーズなどの珍しいトッピングの餅もあり、笑顔で食べていただきました。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

【文化祭】



文化祭会場



遊び広場



高齢者サークルの作品



保育園・幼稚園児の作品

【餅つき大会】



夜高祭 田楽行燈武者絵販売

昨年度「田楽行燈の武者絵や横の文字が破れていたり古くなっていたりしてどこかに売っていないか」という問い合わせがまちづくり協議会にありました。

購入を希望される方は産業文化会館裏の福野中部まちづくり協議会（福野中部交流センター）にお問い合わせください。価格は次のとおりです。

武者絵 1枚：300円 横の文字 1枚：100円

なお、田楽行燈そのものを新調したい方、木枠にきちんと張ってほしい方は、水島桃山堂（22-3323）にご相談ください。

旧富山紡績工場跡地エリア開発説明会 報告

南砺市政策推進課主催で、3月7日（木）午後7時より福野体育館会議室において「旧富山紡績工場跡地エリア開発説明会」が開催されました。説明会には59名の方が参加されました。市の説明の後の質疑応答は活発な意見交換になりました。裏面に当日の資料があります。それを読んでいただいてから下記の【質疑応答の内容】をご覧ください。

【質疑応答の内容】（抜粋）

資料の中にある ORACCHA プロジェクト基本構想とは

- ① 市民が集えて稼げる広場の整備、②複合施設（公共施設と民間施設）建設・運営管理、③集合住宅の建設・管理運営 を基本とした開発計画を提案した。

質問：ORACCHA プロジェクト基本構想をもとにした紡績跡地の開発は工期を分割して行うということだが、跡地開発全体を統括する方法はどうか。

市：令和6年度に跡地全体の実施計画を作成するため、この計画に従って跡地全体の開発を進めていくことになる。工期ごとに異なる方針で進めることはない。

質問：市としての予算はどれだけか。また、ランニングコストの支援はしないのか。

市：市の予算は、整備に対して5億円を予定している。ランニングコストについては市から支援はしない。ただし、入居した公共施設の賃貸料や実費については負担する。

質問：交流センターが入居することで、中部地区の住民の金銭的負担は増えるのか。

市：住民の負担がなるべく上がらないような方向で、事業者と話し合いながら進めていきたい。

質問：広場や公共施設の規模、着工順などはどうか。

市：施設の規模や機能（調理室や屋内遊具施設、集合住宅等）、工事の進め方等については、開発事業者を選定し、その事業者の計画案によるため、決まっていることはない。ただし、意見は参考にさせていただきたい。また、事業者の計画をそのまま進めるのではなく、その計画をもとにして地域の方と話し合いながら実施計画を決めていく予定である。

質問：今後、開発計画に対する地域の意見や要望を市に伝えることは可能か。

市：各地域づくり協議会で意見や要望を取りまとめてもらいたい。市に対して個々に要望いただいても十分な対応ができない場合も考えられる。

質問：防災機能についてどのように考えているか。

市：福野地域の防災体制を見ながら、その上で必要な機能について、開発事業者と防災協定を結ぶなどして安全安心に配慮する。

質問：開発事業者の選定について応募がなかった場合、もしくは複数の応募があった場合、どのように対応するのか。

市：応募がない場合は応募資格など条件を再検討し、再募集をかけることになると考えられる。また複数の応募があった場合は、地域の代表や市の職員で構成する審査委員会を設置し、事業者を決定する。

質問：今日のような説明会を今後開催する予定はあるか。

市：令和6年度に事業計画が明らかになるなどのタイミングで説明会を開催する予定である。→次回の説明会にはぜひご参加ください。よろしくお願いたします。

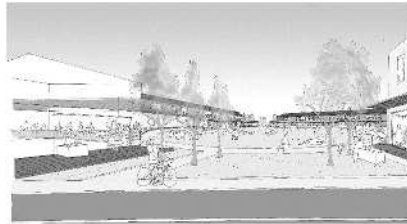
福野地域におけるまちづくりの取り組みについて

～富山紡績工場跡地の公民連携事業によるエリア開発に向けて～

令和 6 年 3 月
福野まちづくり検討委員会
南 砺 市 政 策 推 進 課

1. これまでの経緯

平成26年	3月	市が富山紡績工場跡地を取得
	7月	福野中部地区工場跡地まちづくり会議が発足し、複合地域コミュニティ施設の整備を要望
	12月	福野中部地区工場跡地まちづくり会議から、福野産業文化会館と福野中部地区公民館機能を備えた福野中部コミュニティセンター（仮称）の建設を要望
平成27年	9月	南砺市公共施設等総合管理計画を策定
平成28年	3月	第2次南砺市公共施設再編計画を策定
平成28年	6月	福野中部自治振興会から福野中部公民館の移設建設を要望
《庁舎再編に関する議論が高まる》		
平成29年	8月	福野地域自治振興連絡協議会から福野中部公民館の整備等を要望
平成30年	2月	まちづくり検討会議設置
	12月	まちづくり検討会議から市長へ提言
令和	3年12月	旧富山紡績工場跡地利活用 ORACCHA プロジェクト基本構想策定 福野地域住民との意見交換会
令和	4年 3月	南砺市福野地域 ORACCHA 構想の具現化に向けた事業計画案策定支援業務（以下「策定支援業務」という。）を発注
令和	5年 6月	福野まちづくり検討委員会を設置し、ORACCHA 構想の実施について協議



2. まちづくり検討会議の提言概要

まちづくり検討会議は、庁舎統合に伴い庁舎が無くなる地域のにぎわい喪失や地域経済の衰退の懸念から、地域の不安解消と将来の希望を生み出すことを目的に設置し、庁舎再編とあわせて地域のあるべき姿について議論されました。

福野地域が目指すまちづくりの方向性は、

- ①まちの優位性を活かした新しい核となる拠点づくり
- ②駅周辺・空き家・空き店舗・空き地の活用
- ③人口減少を見据えた次世代に繋がる持続可能なまちづくり

と取りまとめ、公共施設の再編対象となっている産業文化会館、建替を要望している福野中部交流センター並びに遊休資産となっている富山紡績工場跡地の、まちの資産（優位性）を活かした持続可能なまちづくりを目指すこととしています。

3. 旧富山紡績工場跡地利活用 ORACCHA プロジェクト基本構想概要

2. まちづくり検討会議からの提言をもとに、福野地域提言実現検討組織の2020リノベーションスクール@南砺エリアビジョンコースのメンバーで基本構想を策定しました。

主な概要は、富山紡績工場跡地の中心に広場を配し、福野市民センターや福野中部交流センターの機能を有した施設を民間主導型の公民連携事業により整備し、基本構想のコンセプトである「幸せな広場による現代版 町立て」をすすめることで地域の活性化を目指したものです。

4. 実施に向けた取り組み

基本構想が策定された後、策定支援業務を委託しエリアで整備する機能、規模並びに概算事業費等について取りまとめられたが、広場のあり方や整備のタイミング、資金調達の方法・規模などから短期間に集中的に投資することに対し課題が生じました。このことから、基本構想に基づく公共的機能と稼げる民間施設との規模・整備バランス、投資に見合う事業規模や資金回収を見極めながら実現可能な範囲から整備できるよう、令和6年度から福野地域と市、民間事業者が連携する体制を構築したうえで、自らエリア開発を行える民間事業者を募集し、実施計画を策定することとします。

【求める公共的機能】

福野市民センター、福野中部交流センター、会議室機能

【今後の予定】

令和6年4月 公民連携事業者の募集

5月 申請期限、優先交渉権者の審査・選定

6月 契約締結、事業着手

